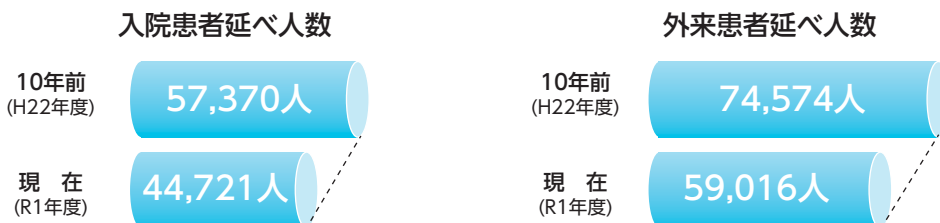


データから見えるしおがま

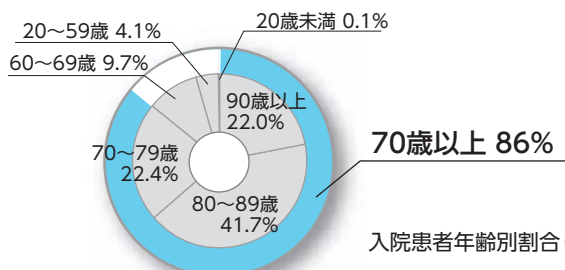
Vol.9

市立病院の受診者は10年前からどう変わった？

入院・外来患者数ともに約2割減少



入院患者は70歳以上の方が8割以上を占めている



70歳以上の割合は、年々、増えています



(参考) 高齢化率の比較

塩竈市	33.4%
仙台市	24.1%
宮城県	27.9%
全国	28.6%

市立病院は、皆さんが安心して暮らし続けることができるよう、高齢者に優しい良質で安全な医療の提供に努めてまいります。

☎塩竈市立病院 ☎364-5521

しおがまの昔・懐かし 思い出写真館 ②③



NPOみなとしおがま提供「御釜神社境内の噴水」

この噴水は、明治45年に市内の上水道が完成した記念として設置されました。

☎政策課市政情報係 ☎355-5728

塩竈の文化財

再発見

今からちょうど300年前の享保6(1721)年正月、仙台藩5代藩主伊達吉村公が揮毫(きごう)した「勝画楼」題字が法蓮寺に下げ渡され、同年3月、同寺の書院に額として掲げられました。「ここ(法蓮寺書院)からの眺めは画(え)に勝る」として命名されたもので、明治時代以降は、建物自体が「勝画楼」と呼ばれるようになりました。

ところが、古文書や古い絵図を調べてみると、吉村公がこの題字を揮毫した1721年には、懸けづくりの東向書院は存在していなかった可能性があり、勝画楼研究上最大の謎になっています。

市ホームページに『勝画楼調査報告書』の全文を掲載していますので、この謎に挑戦してみてください。

☎生涯学習課学習支援係 ☎362-2556



障がいに関わるマークを知ろう ①



「白杖 SOS シグナル」普及啓発シンボルマーク

白杖を頭上50cm程度に掲げてSOSのシグナルを示している視覚障がい者を見かけたら、進んで声をかけて支援しようという「白杖SOSシグナル」運動の普及啓発シンボルマークです。

※「白杖SOSシグナル」普及啓発マークは岐阜市が制定しました

☎生活福祉課障がい者支援係 ☎364-1131